

2～17歳の子ども向け無料点鼻鼻スプレー型インフルエンザワクチン



お子様が2～17歳の場合(18歳になるまで)、注射の代わりに鼻スプレーでワクチン接種を受けられるようになります。

点鼻スプレー型ワクチンは、アメリカやイギリスなどの国々で10年以上使用されており、何百万人もの子供たちに接種されています。

点鼻スプレー型インフルエンザワクチンの仕組み

- 両方の鼻の穴にワクチンを噴霧します。
- 鼻の中で素早く作用するので、お子さんがその後くしゃみをしていても効果は持続します。
- このワクチンには少量の弱毒化ウイルスが含まれており、病気になることなく、お子様の体にインフルエンザと戦う方法を教えるものです。
- 点鼻スプレー型のインフルエンザワクチンは、インフルエンザ注射と同じくらいの効果があります。
- 他のインフルエンザワクチンと同様に、このワクチンも毎年更新されるため、毎年接種する必要があります。

副作用

ほとんどの副作用は軽度で一時的です。次のような症状がみられることがあります。

- 鼻水が出たり、鼻づまりが起きる
- 軽い頭痛がする
- 疲れる
- 普段より食欲が落ちる。

アナフィラキシー(重篤なアレルギー反応)などの深刻な副作用は非常にまれです。

病気のある子どもの中には、点鼻スプレー型のインフルエンザワクチンを接種できない場合もありますが、代わりに注射型のワクチンを接種できる場合があります。かかりつけ医、薬剤師、またはワクチン接種担当者が、お子さんにとって何が最善かを判断します。

接種を受けられるのは誰ですか

- 点鼻スプレー型インフルエンザワクチンは、2歳、3歳、4歳、5歳(6歳になる前)のお子さんは無料で接種できます。この年齢層はインフルエンザによる合併症を起こしやすく、また、他人に感染させやすいのです。
- 針を使うことに不安や苦手意識のある6歳から17歳(18歳未満)のお子さまも利用できます。
- インフルエンザ予防接種は引き続きすべての人が無料で受けられます。
- 点鼻スプレー型インフルエンザワクチンには豚由来製品(ポークゼラチン)が含まれています。点鼻スプレー型インフルエンザワクチンに関する宗教上の見解は、宗教や指導者によって異なる場合があります。お子様にとってどのワクチンが最適かを判断する際には、医療従事者や宗教指導者に相談することをお勧めします。

ワクチン接種を受けられる場所

次の場所で予防接種を受けられます。

- かかりつけ医
- 薬局
- 地域の医療クリニック
- アボリジニおよびトレス海峡諸島民コミュニティが管理する医療サービス。

インフルエンザワクチンの接種には、メディケアカードは必要ありません。かかりつけ医によっては、診察料を請求する場合があります。

他の定期予防接種と同時に受けることもできます。

大切なものを守りましょう。



無料のインフルエンザワクチンに関する詳細情報や、ご自身の言語で利用できる資料は、「**クイーンズランド州インフルエンザ情報**」で検索するか、こちらのQRコードをご利用ください。